

明色舗装用固体アスファルト（施工性改良タイプ）

# ユーファルト MB-1

ユーファルト MB-1は様々な景観に調和する明色舗装用固体アスファルトです。

自然石の色調そのままに舗装することだけでなく、顔料を入れることで彩り豊かな舗装を行うことができます。

通常のアスファルト舗装に比べて路面温度を下げる効果があり、歩行者にやすらぎを提供します。

## ■ 主な適用箇所

- 遊歩道
- 公園内歩道
- サイクリングロード
- 軽交通車道、その他

## ■ 製品性能と特長

### ● 締固め特性

混合物の温度低下による締固め特性の変化が小さく所定の密度を得ることが容易です。

### ● 作業性

混合物の温度低下によるべたつきが少なく作業性・施工性に優れています。

### ● 環境性

混合物から発生する臭いが少なく、工場環境、作業環境を害しません。

### ● 耐候性

紫外線による硬化、脆化等が少なく、骨材飛散、ひび割れを最小限に押さえます。

## ■ 明色舗装の特長

### ● 路面温度の低減

明色舗装は一般的なアスファルト舗装に比べ、路面温度を下げるることができます。

ヒートアイランド現象を抑制するだけでなく、路面に近いベビーカーの赤ちゃんや子供にも優しい舗装です。

## ■ 品質レベル

### ● 日本改質アスファルト協会 (JMAAS-01) ポリマー改質アスファルトII型

### ● 日本道路協会 舗装設計施工指針 (平成18年度版) ポリマー改質アスファルトII型

## ■ 代表性状※1

項目	単位	ユーファルトMB-1	標準的性状※2
軟化点	°C	57.0以上	56.0以上
伸度 (15°C)	cm	60	30以上
タフネス (25°C)	N・m	10.0以上	8.0以上
テナシティ (25°C)	N・m	5.0以上	4.0以上
針入度 (25°C)	1/10mm	45以上	40以上
薄膜加熱質量変化率	%	0.6以下	0.5以下
薄膜加熱後の針入度残留率	%	65以上	65以上
引火点	°C	280以上	260以上
密度 (15°C)	g/cm³	以上	—
推奨混合温度※3	°C	165~175	—
推奨締固め温度※3	°C	150~160	—

※1 代表性状は製造時の許容差異を含んだ代表値です。製品の改善のため、予告なく変更する場合があります。

※2 日本道路協会 舗装設計施工指針(平成18年度版)ポリマー改質アスファルトII型の標準的性状。

※3 室内供試体作成時の温度範囲です。混合所や施工時の温度は室内推奨温度範囲よりも広く設定が可能です。

## ■ 販売荷姿

2.5kg×4枚を乳白色PE袋包装=10kg



約、25cm×53cm×19mmの固形板状



## ■ 混合練の重要留意点

- 投入は、2.5kgの固形板状 1枚ごと投入して下さい。
- 廃棄物「0」の包装です。乳白色PE袋(ラベル付)は、バッチ毎に投入して下さい。
- 外袋用のストレッチフィルムも均等割にして、バッチ毎に投入が可能です。
- 練落し温度170°Cの場合 ユーファルト投入完了後、90秒以上の練時間を目安として下さい。
- 練落し温度160°Cの場合 ユーファルト投入完了後、120秒以上の練時間を目安として下さい。

上記は気温15°C、猿投碎石使用の蜜粒配合、バインダー量 5.5%、2トンプラント使用、1トンバッチで確認していますが、条件により異なります。本資料に掲載された技術情報は、弊社で確認した代表値です。諸条件により異なる場合があります。

## ■ 注意点:ご使用にあたっては、事前に安全データシート(SDS)をご参照下さい。

### 取扱上

- 貯蔵期間は、常温、暗所の保管で1年を超えない様に注意して下さい。施工直後から半年の間に、舗装表面が白化する場合がありますが、3ヶ月から1年の間に自然石の色に落着くことが観察されています。
- 顔料を使用される場合は、変色を避けるため顔料混合後1時間を目安に敷き均して下さい。
- 締固めが不十分な場合、破損が発生する恐れがありますので締固め温度に注意して下さい。

### 安全上

- 溶融したユーファルトに触るとやけどを負う恐れがあります。
- 溶融したユーファルトの蒸気を吸引しない様に注意し、室内の場合は十分な換気を行って下さい。
- 溶融したユーファルトに水を触れさせないで下さい。ユーファルトが飛散しやけどを負う可能性があります。
- 溶融したユーファルトは引火する可能性があります。消化には粉末又は炭酸ガス消火器を使用して下さい。

## 日東商事株式会社

アスファルト事業部 営業部  
TEL:03-6261-0150